



平成31年 新年ごあいさつ

青森県知事 三村 申吾

明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素より青森県政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年は、「平成」に続く新たな時代が幕開けし、その第一歩を踏み出す年です。また、人口減少や少子・高齢化の進行、超高齢化時代の到来、グローバル化のさらなる進展など、私たちを取り巻く環境が大きく変化し、まさに時代の転換点でもあります。

このような中であっても、県民が安心して働き、暮らしていける持続可能な青森県の実現を目指していくため、昨年末に、本年4月から新たにスタートする「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」を策定しました。

同計画では、若者や女性の県内定着・還流を促すため、学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森県」、また、「世界が認める青森ブランドの確立」に向けて、農林水産品や観光など様々な分野における本県の価値が国内外から認められ、「選ばれる青森県」を目指して、積極果敢に取り組んでいくこととしています。

「選ばれる青森県」を実現するためには、地域の産業を支え、交流・物流の基盤となるインフラ整備と、災害に強い安全・安心な県土づくりの推進が必要不可欠です。

今年は、国の直轄事業による上北天間林道路が開通し、昨年11月に供用を開始した国道394号榎林バイパスと接続する予定であり、県南地域と津軽・下北間での一層の交流拡大が期

待されます。引き続き、主要幹線道路ネットワークの整備や物流拠点となる港湾機能の強化等を着実に推進して参ります。

一方で、近年、自然災害が複雑多様化・大規模化しており、昨年は、西日本豪雨、北海道胆振東部地震等により甚大な被害がもたらされました。特に全国各地で想定を上回る大雨が発生しており、河川の氾濫や土砂災害の頻発・激甚化が懸念されているところです。

県では、東日本大震災以降、県民の尊い生命と財産を守るため、「防災公共」を推進するとともに、「防災物流インフラ強化計画」の策定や、「洪水等タイムライン」の普及、想定し得る最大規模降雨による「洪水浸水想定区域」の公表などを行ってきました。今般、国が取りまとめた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」については、県としても確実に実施していくこととしています。

また、社会基盤の整備・維持管理に加え、除雪・災害対応などの重責を担う建設企業が、若年労働者の減少や就業者の高齢化などの状況変化に対応し、企業力を高めながら成長していくため、女性をはじめとする多様な人財が、この青森県で持てる力を最大限に発揮し、活躍できる環境づくりにも積極的に取り組んでいます。

県としては、国内外から選ばれる青森県、県民の皆様がここに生きる喜びを感じながら安心して暮らしていける青森県の実現に向けて全力で取り組んで参りますので、引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝とますますの御活躍をお祈りし、新年の挨拶といたします。